

練習の成果を発揮し目指せベスト 8 !!

— 市町村対抗福島県軟式野球大会 国見町チーム紹介 —



チーム一丸となって勝利を掴み取ります!!



福島県内の市町村間の交流や軟式野球のレベル向上を目的とした「第 15 回市町村対抗福島県軟式野球大会」が、9月4日に開幕しました。

今年のチームは昨年に引き続き、安藤雅規監督のもと、主に 20 代の若い選手で編成されています。新メンバーも加入し、これまでの経験と新戦力の融合による新たなチーム作りを目指し、練習に取り組んでいます。

国見町チームの初戦は 9 月 11 日に「ほばら大泉球場」(伊達市)で棚倉町と対戦します。

みんなで国見町チームを応援しましょう!!

出場選手

背番号	位置	氏名	背番号	位置	氏名
	代表	佐久間裕明	4	内野手	安藤 祥都
30	監督	安藤 雅規	5	内野手	服部 琢弥
10	主将	松浦 昭太	6	内野手	菅野 歩夢
1	投手	齋藤 奨	16	内野手	鈴木 俊大
11	投手	佐藤 克彦	28	内野手	佐藤 哲也
12	投手	阿部 浩士	29	内野手	川名 敦
17	投手	齋藤 翔	8	外野手	高野 陽呂
18	投手	高橋 薫	13	外野手	中木 秀悟
19	投手	佐藤 玲温	15	外野手	阿部 仁洋
2	捕手	佐藤 健郎	20	外野手	村上 正幸
21	捕手	滝澤 瑞希	24	外野手	本田 直也
22	捕手	佐藤 空大	25	外野手	大竹 由樹

国見町チーム監督

安藤 雅規さん



今年は新戦力が 2 名加入し、若手選手を主力としてチーム編成をしています。投手力を中心に手堅く守りを固め、守備からリズムを作りたくと考えています。相手の隙をつき、チャンスをものにして勝利をつかみたいです。

コロナでの暗い雰囲気吹き飛ばせるよう、町民の皆さんに明るい話題を届けたいと思いますので、応援よろしくをお願いします。

「国見町の火」にエールを込めて

— 国見ジュニア応援団が聖火の種火おこし —



1_ 思いを込めた「国見町の火」2_ 慣れない火おこしに悪戦苦闘3_ 種火を消さないように…4_ 四季の里(福島市)で行われた「中通りの火」の集火式5_ 種火を納めたランタンと種火を保存するカイロ

東京 2020 パラリンピックの「種火おこし」が 8 月 12 日、観月台文化センターで行われました。

当日は国見ジュニア応援団の団員 5 名が参加し、古来の伝統的な手法である「舞切り式火おこし」で採火しました。団員たちは慣れない火おこしに苦戦している様子で、「煙は出るのに種火がおきない」「腕が疲れてこれ以上回せない」という弱気な声も聞かれましたが、あきらめずに挑戦を続け、なんとか種火をおこすことに成功しました。おこした種火は「国見町の火」として、団員たちの手で用意された移送用のランタンに納められました。



「国見町の火」は、県内 59 市町村で作られた種火とともに、8 月 15 日に行われた集火式(郡山市)で「福島県の火」としてひとつとなり、東京に送り出されました。全国各地から集められた種火は統合され、24 日に開幕した東京 2020 パラリンピック会場の聖火台に灯されました。

未来の自分を思い描いて

— 県北中学校美術部生徒が「自分の足」を制作 —



1_ 未来の自分を想像して制作 2_ 細かい部分まで繊細な作業を行う 3_ 完成した未来の「自分の足」

9 月 11 日から群馬県中之条町で開催予定の「中之条ビエンナーレ国際現代芸術祭 2021」に、県北中学校美術部の生徒が制作した「自分の足」が展示されます。

この芸術祭は、2007 年から 2 年に 1 度開催されているアートイベントです。国内外のアーティストが中之条地域に滞在しながら作品を制作することで、地域とアーティストが共に歩み、作品が展示される舞台を共同で作ります。

生徒たちは、自分がこれからのように生きていくのか、大人になった自分を想像し「未来の足」を制作。生徒一人ひとりが未来の自分と真剣に向き合いながら、夢中で制作した素晴らしい作品が完成しました。